

橋名板の設置

大阪市では、水の回廊に架かる橋(約 70 橋)については、船からも橋の名前がわかるよう橋名板の設置を行ってきました。平成 21 年 11 月に、橋名板が設置されていない 26 橋について設置が完了し、水の回廊の全ての橋で、船から橋の名前がわかるようになりました。

26 橋のうち、地元の方々と関係の深い代表的な 8 橋については、市民に愛される橋をめざし、また、市民協働の観点から、小中学生など市民の代表者に揮毫(きごう)をしていただきました。なお、「難波橋」については、市民の代表として、大阪市長および大阪府知事が揮毫しました。

【市民に揮毫していただいた橋】

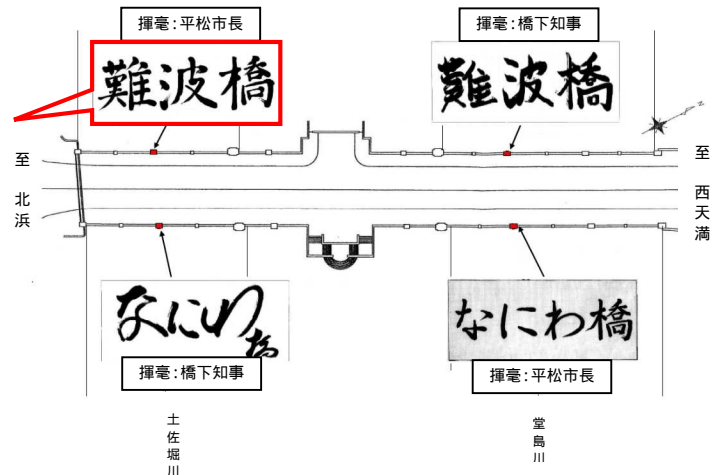
ばらその橋、水晶橋、高麗橋、大手橋、本町橋、末吉橋、木津川大橋、岩松橋



【難波橋の設置状況】



難波橋橋名板 平面配置図



「橋梁ライトアップ」パネル展の開催

「OSAKA 光のルネサンス 2009」開催(平成 21 年 12 月 1 日～12 月 25 日)にあわせて、大阪
市役所 1 階にて、「橋梁ライトアップ」を題材としたパネル展を開催しました。

【紹介している橋】 中之島ガーデンブリッジ、錦橋、淀屋橋、大江橋、水晶橋、難波橋、天神橋



展示の様子



パネル内容

「中之島ガーデンブリッジ・光の祈り橋伝説」の開催

平成 21 年 12 月 19 日(土)、中之島ガーデンブリッジプロジェクト実行委員会主催(事務局
: 大阪市北区役所)により、中之島ガーデンブリッジおよびその周辺において、地域の活性化を
図るため、「光の祈り橋伝説」が開催されました。「OSAKA 光のルネサンス 2009」開催に伴う中
之島ガーデンブリッジのライトアップに合わせ、光・音・食のプログラムで盛り上がりました。

【ボランティア】約 130 名、【当日参加者】約 4500 名

プログラム

- <光> 中之島ガーデンブリッジの橋上に、「いのり星」約千個を飾り、光の天の川を表現
- <音> 橋の北側にある新ダイビル前公開空地で、
午後 3 時～9 時、8 組のアマチュアバンドによるライブを開催
- <食> 新ダイビル前公開空地にフードコーナーを設け、コーヒー・サンドイッチなどを提供



当日の様子(中之島ガーデンブリッジ橋上)

出前講座『「なにわ八百八橋」のまち大阪』の開催

出前講座として、アイ・スポット において、平成 21 年 12 月 22 日から平成 22 年 2 月 18 日にかけて、「川からみたまち・おおさか」と題し、河川と大阪のまちづくりを考える連続講座を開催しました。橋梁担当では、最終日の 2 月 18 日に『「なにわ八百八橋」のまち大阪』をテーマとした講座を行い、36 名の方々に受講していただきました。

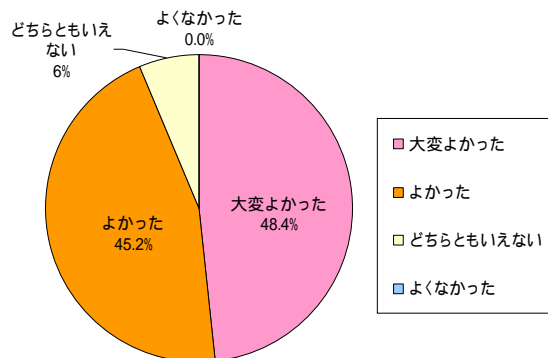
講座受講者に実施したアンケートでは、「大変よかった」・「よかった」を含めて 9 割以上の方から、高い評価をいただきました。

大阪市のまちづくりに関する情報を展示し、市民の方々に広く利用していただける、まちづくりの情報発信施設（淀屋橋 odona の 2 階〔旧大阪市立愛日（あいじつ）小学校跡地〕）。

川からみたまち・おおさか講座一覧			
講演日	講演時間	テーマ	講師
12月22日(火)	18:30～20:00	「OSAKA光のルネサンス2009」開催中！！	大阪市ゆとりとみどり振興局文化部 事業企画担当課長 阪東 正紀
1月12日(火)	18:30～20:00	おおさかの川と下水道	大阪市建設局下水道河川部 アメニティ対策担当課長 栗山 和雄
1月29日(金)	18:30～20:00	川がつくったまち 大阪	大阪市建設局下水道河川部 河川担当課長 竹内 慎
2月9日(火)	18:30～20:00	「水都大阪2009」開催を振り返って	大阪市ゆとりとみどり振興局文化部 事業企画担当課長 飯田 俊子
2月18日(木)	18:30～20:00	「なにわ八百八橋」のまち大阪	大阪市建設局道路部 橋梁担当課長 横田 哲也



講座の様子



アンケート結果 N=31

また、受講者からの自由意見としても、以下のような講座に満足したという意見を多くいただきました。

- ・ 大阪市が橋にかける情熱がこんなにも熱いものが有ることを直に初めて聞いて良かった。
- ・ 大阪の橋の歴史等ある程度知っていたが、橋の種類、内部の苦労等がわかり参考になった。
- ・ なにわ八百八橋の歴史とエピソードがわかり、人々の思い・喜怒哀楽の機微があり参考になった。

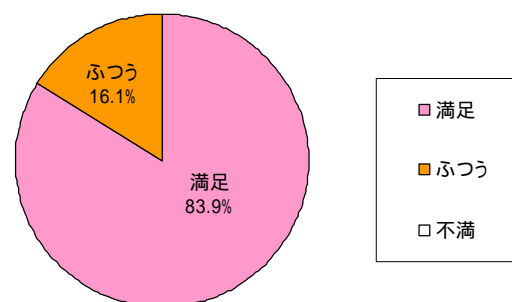
出前講座『なにわ八百八橋に学ぶ』の開催

住吉人権文化センターにおいて、平成 22 年 3 月 17 日に、「なにわ八百八橋に学ぶ」と題した出前講座を開催しました。生活、文化、芸能、社会生活の様々な場面で深く大阪の人と関わってきた「なにわ八百八橋」の歴史を学んでいただくことで、橋をとおして、改めて「大阪」を考えていただくことを目的とし、当日は 66 名の方々に参加していただきました。



講座の様子

講座受講者に実施したアンケートでは、講座内容について、「満足」だと回答された方は約 84%にのぼり、高い評価をいただきました。



アンケート結果 N=56

また、自由意見としても、以下のように、講座に満足したという意見を多くいただきました。

- ・ 大阪の橋について知識を得てより一層愛着を持ってました。歴史を受けたのも初めてで大変よかったです。
- ・ いつも渡っているだけの橋がいろいろな役割がある事、橋の維持管理の大切さを知りました。ビデオも大変良かったです。
- ・ 大阪の街を知る楽しみが、又一つ加わったことが良かったです。

橋梁技術の伝承に向けた取り組み

大阪市では、「なにわ八百八橋」と称されるように数多くの橋がかかっており、現在、大阪市建設局は764橋(平成22年3月現在)の橋を管理しています。そこで、橋梁担当では、これまで橋梁の建設に携わった職員を講師として招き、次の世代を担う若手職員に向けて、橋梁の設計についての熱い思いや体験談、さらには今後の橋梁の整備や維持管理に係る留意点等を伝承していくための取り組み(講義形式)を行っています。平成22年1月25日には、第2回講義が行われました。



講義の様子

第1回については、瓦版第2号(H21年8月発行)をご覧ください

～主な講義内容～

- ・橋梁の設計時に留意した事項
- ・橋梁の設計時の体験談 など

トピック

本町橋が選奨土木遺産に認定

本町橋が、平成21年度土木学会選奨土木遺産に認定されました。

本橋は、東横堀川に大正2年に架けられた、大阪で現存する最古の橋です。「橋脚に施されたエンタシスの石柱を模した飾りや上部のバルコニーなどの意匠に富む、大阪市内で最古の橋である」ことが、受賞理由として挙げられています。授賞式は、平成22年1月29日に、建設交流館にて行われました。

土木学会において、土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木建造物の保存に資することを目的とし、平成12年より認定されている(建設局管理では、他に『天神橋・天満橋(H12)』、『安治川トンネル(H18)』が認定)。



本町橋



授賞式の様子

